

KKR 札幌医療センター外科専門研修プログラム

1. KKR 札幌医療センター外科専門研修プログラムについて

KKR 札幌医療センター外科専門研修プログラムの目的と使命を以下に示します。

- 1) 医師である前に、人間として社会に受け入れられる高い倫理性を習得します。
- 2) 専攻医は医師として必要な基本的診療能力を習得します。
- 3) 専攻医は高い知識と技能を習得し、標準的な医療を習得し、責任を果たせる外科専門医となります。
- 4) 外科領域全般の研修だけでなく、サブスペシャリティー領域である消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科および乳腺外科の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へ向けて研修します。

2. 研修プログラムの施設群

KKR 札幌医療センターと連携施設である町立中標津病院で専門研修施設群を構成します。専門研修指導医は KKR 札幌医療センターには 7 名おり、町立中標津病院にも 1 名いて、専攻医の指導に当たります。

専門医基幹施設	都道府県	1.消化器外科、2.心臓血管外科、 3.呼吸器外科、4.小児外科、 5..乳腺内分泌外科	統括責任者 田村 元
---------	------	--	---------------

KKR 札幌医療センター	北海道	1.2.3.4.5
--------------	-----	-----------

専門研修連携施設			連携施設担当者
町立中標津病院	北海道	1.	中川智徳

3. 専攻医の受け入れ数について

本専門研修施設群の 3 年間の NCD 登録数は 3500 例であるが、北海道大学外科・大阪大学外科・獨協大学外科研修プログラムにも参加しているため、NCD 登録数を按配しており、本年度の募集専攻医は 1 名です。

4. 外科専門研修について

- 1) 外科専門医は初期臨床研修終了後、3 年の専門研修で育成されます。
- 3 年間の専門研修期間中 2 年半は基幹施設である KKR 札幌医療センターで消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・小児外科・乳腺外科の研修を行い、半年間は町立中標津病院で地域医療・消化器外科の研修を行います。

➤町立中標津病院での研修は 3 年目の前期又は後期になります。町立中標津病院は地方の最前線の病院であり、一般の診療・手術、救急対応など専門医の仕上げの時期にはふさわしい病院です。

2) 年次毎の専門研修計画

➤専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。習得すべき専門知識や技能は専門医研修マニュアルに記載してあります。

➤専門研修 1 年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。

具体的には、定期的なカンファレンスに参加し、診断能力および手術の適応について学び、抄読会・院内主催のセミナーに参加します。また消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科ではそれぞれの手術を膨大なライブラリーとして保存しており、専攻医はこれらの画像を見て手術の流れを把握し、手術のシュミレーションをすることが可能になります。

消化器外科では主に良性疾患の手術を執刀することになります。

➤専門研修 2 年目では、基本能力の向上に加えて、数多くの手術を経験します。

消化器外科では良性疾患に加えて、大腸・胃の悪性疾患の手術も執刀します。

呼吸器外科では良性疾患や肺転移の手術を経験します。

心臓血管外科の場合資格が必要な手術が多いため、主に助手としての参加になります。

さらに、学会への参加を通して、専門知識の習得を図ります。

➤専門研修 3 年目では、半年間の町立中標津病院研修があります。

基幹病院の半年間では専門知識の習得・高度な技術の習得を行い、専門研修の仕上げをします。

消化器外科では悪性疾患や膵疾患、肝疾患の手術も経験します。

呼吸器外科では比較的容易な悪性疾患の手術を経験します。

心臓血管外科では冠動脈疾患・心臓弁疾患などの高度な手術に参加します。

➤専門研修 3 年終了後は KKR 札幌医療センターでサブスペシャリティーを取得する場合がありますし、他の大学等でサブスペシャリティーを取得することも認められます。

また、大学院へ進学することも可能です。

消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・乳腺外科の研修は原則 1 年・半年・半年・半年とするが、専攻医の希望により変更することも考えられる。

また、小児外科研修は年間件数がそれほど多くないので、症例が発生した際にどの科の研修期間であっても担当できるように配慮する。

3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設（KKR 札幌医療センター）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:00-8:30 抄読会					
8:00-8:30 朝カンファランス					
17:00-18:00 ビデオカンファランス					
8:30-10:00 病棟業務					
10:00- 手術					
17:00-18:30 手術カンファランス					
17:00-18:00 病棟カンファランス					
18:00-19:30 4科合同カンファランス (外科・内科・放射線科・病理科)					

連携施設（町立中標津病院）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:00-8:30 朝カンファランス					

年間スケジュール

- 4月 外科専門研修開始
外科学会発表（2年目）
- 7月 消化器外科学会・乳癌学会発表など（3年目、サブスペシャリティーに合わせて）
- 9月 胸部外科学会発表（3年目、サブスペシャリティーに合わせて）

5. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

- 専攻医研修マニュアルの到達目標1（専門知識）、到達目標2（専門技能）、到達目標3（学問姿勢）、到達目標4（倫理性、社会性など）を参照してください。

6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル 到達目標3 参照）

- 毎週手術カンファレンスが行われ、各疾患の診断・治療の知識を高めることができる。
- 看護師・薬剤師・理学療法士を加えた病棟カンファランスでは各患者ごとに他職種とのコミュニケーションを図り、倫理性・人間性を磨くことができる。

- 外科内科放射線科病理科合同カンファレンスでは症例ごとに各科の意見を聞き、自らも発言することにより、疾患の理解を深めることができる。
- ビデオカンファレンスでは各自が先週実施した腹腔鏡・胸腔鏡手術をそれぞれ10分程度に編集して、カンファレンスする。これによって、自らのビデオを繰り返し見ることになり、復習ができる。また指導医師達から技術的アドバイスをもらえることにより、より早く、高度な技術を習得できる。また、すべての手術がライブラリーになっており、消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科の技術習得を助けている。

8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて（専攻医研修マニュアル 到達目標3 参照）

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれていません。

➤コアコンピテンシーには個人的コンピテンシーと社会的コンピテンシーがあり、個人的コンピテンシーには自己統制（誠実さ、冷静さ、慎重さ、思いやりなど）、自己確信（ストレス耐性）、達成意欲、礼儀などが含まれており、社会的コンピテンシーには共感性や社会的スキルなどがあります。医師は一人で診療に当たるわけではなく、他の医師や他の職種とうまくコミュニケーションを図り、思いやりをもって診療に当たらなければなりません。チーム医療の必要性を理解し、実践することを学びます。

➤患者には社会的背景・家族的背景・遺伝的背景があり、全人的にこれをとらえることを学んでもらいます。

➤後輩医師に対しては自らが手本となり、さらに指導ができるようにします。

9. 地域医療についての考え方

本研修プログラムには半年間の町立中標津病院での外科研修が含まれています。

中標津町は道東に位置し、町内で手術が可能な唯一の施設で、周辺地域で手術が可能なところは救急車でも約1時間かかる釧路市しかありません。このため、常にどのような疾患の患者が搬送されてくるかわからない中で、救急車の初期対応・緊急手術などを考慮していく必要あり、専攻医の卒業にふさわしい研修が可能です。年間の手術は150例程度ですが、手術件数に現れない緊張感があります。

北海道は広大な大地に町立中標津病院のような施設が点在し、それぞれが初期対応しなければなりません。しかし、人が住み、生産がなされているところには必ず医療の必要が発生します。町立中標津病院の研修を通して地域医療の必要性を認識してもらえらると思います。

10 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル VI 参照）

専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に

求められる知識・技能の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価します。

・
➤指導医は日々の臨床の中で専攻医を指導します。

➤専攻医の臨床経験は NCD に登録されますが、KKR 札幌医療センターでの経験は医療事務補助のスタッフが登録してくれます。

➤医師としての態度については、自己評価に加えて、指導医による評価、看護師長による評価、医局事務員などによる評価など他職種の評価を実施します。

➤専攻医は毎年2月末に NCD 登録症例を指導医に提示し、自己報告書を作成します。指導医はこれに評価を加え「専攻医実績記録」を作成します。

➤専攻医は毎年3月に専門研修プログラム管理委員会に専攻医実績記録を提出します。

➤3年間の総合的な修了判定は専門研修プログラム管理委員会で行います。

修了判定を得てから、専門医試験の申請を行うことができます。

1 1. 専門研修プログラム管理委員会について

基幹施設である KKR 札幌医療センターには専門研修プログラム管理委員会と専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設である町立中標津病院には専門研修プログラム連携施設担当者がいます。

1 2. 専攻医の修行環境について

専攻医は、医師としての責任をもっているため、必ずしも定刻の勤務ではありません。しかし、この重責を乗り越えてこそ専門医への道が開けます。

もちろん過度のストレスとならないように担当指導医は十分配慮することを約束します。残業については KKR 札幌医療センターの基準に基づいて、手当が支給されます。

1 3. 専門研修プログラムの評価と改善方法

KKR 札幌医療センターの外科専門研修プログラムでは専攻医の評価だけでなく、専攻医からの評価を基に、研修プログラムの改善に取り組みます。

具体的には、年次毎に各指導医、プログラムについての評価をしてもらいます。

その結果は研修プログラム委員会に提出され、研修プログラムの改善に役立っています。

また、この結果はきちんと記録し、日本専門医機構の外科研修委員会に報告します。

1 4. 修了判定について

研修内容を年次毎の評価表と実地経験目録の内容に基づいて、研修プログラム委員会が専門医試験にふさわしい知識・技能・態度であることを評価し、研修プログラム統括責任者が修了判定をします。

15. 外科研修の休止・中断、プログラムの移動、プログラム外研修の条件については
専攻医研修マニュアル VIII を参照

16. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について
研究実績および評価の記録

専攻医研修マニュアル、研修目標達成度報告用紙、専攻医指導評価記録は外科学会のホームページにありますので、専攻医はこれを記録します。
研修実績は医師補助の事務職員が NCD 登録をしてくれるため、KKR 札幌医療センターでの研修では専攻医は登録する必要はありません。
記載された研修履歴・研修評価は KKR 札幌医療センターの専門研修管理センターで保存します。

17. 研修に対するサイトビジット（訪問調査）について

専門研修プログラムについて日本専門医機構からのサイトビジットがあります。
サイトビジットでは研修指導体制や研修内容についての調査が行われ、その評価は専門研修プログラム管理委員会に伝えられ、プログラムの改良に使用されます。

18. 専攻医の採用と修了

採用方法

KKR 札幌医療センター外科専門医研修プログラム管理委員会は希望者に対して毎年 1 月に説明会と面接を行います。
希望者は履歴書と医師免許証のコピーを提出してもらいます。
同年 1 月末までに外科専門医研修プログラム管理委員会から採用・不採用の通知をします。

研修開始届

研修を開始した専攻医は各年度の 5 月 31 日までに以下脳専攻医氏名報告書日本外科学会事務局および外科研修医委員会に提出します。

- ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書【様式 15-3 号】
- ・専攻医の初期研修修了証

修了要件

専攻医研修マニュアル参照